

大川小 竹筒に明かり灯す追悼行事の準備

更新日時：2022/02/08(火) 19:54:17

6:25

大川小にともす
竹灯ろうづくり

来月 追悼行事

竹あかり

節をくりぬいた竹の中にLED電球ともす
犠牲となった児童・教職員と同じ84本を並べる

竹あかりを灯し犠牲者を追悼します。東日本大震災で児童ら84人が亡くなった宮城県石巻市の大川小学校で、竹筒に明かりを灯す追悼行事が、3月行なわれることになり、8日に遺族たちが竹の切断作業などを行ないました。

作業には、大川小で犠牲となった児童の遺族ら10人余りが参加し、熊本県在住の演出家、池田親生さんの指導のもと、竹を切断していきました。「大川竹あかり」と銘打ったこのプロジェクトは、遺族らでつくる実行委員会が、震災発生から11年を迎える3月11日、大川小で竹明かりを灯し、犠牲者の追悼と震災の記憶を後世に伝えるものです。竹あかりは節をくりぬいた竹の中にLED電球を灯すもので犠牲になった児童、教職員と同じ84本の竹を並べます。今後、地元の人たちにも制作への協力を呼びかけるといことです。